

日本と韓国の居住貧困

貧困女性
住まい主催：日本住宅会議／韓米女性リーダーシップネットワーク
協賛：国民の住まいを守る全国連絡会
住まいの貧困に取り組むネットワーク
(株)コミュニティコンサルティング・クリム（韓国）

日時 2018年9月2日(日) 10:00～18:00

場所 東京大学 本郷キャンパス 法文2号館 2番大教室

〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_01_02_j.html

趣旨 第34回日本住宅会議サマーセミナーは、初の日韓共同サマーセミナーとして開催し、両国の居住貧困の全体像に迫りつつ、居住貧困問題の重要な一角である女性の居住貧困に焦点をあてて考えていきます。

深刻化する居住の危機に対する居住支援の政策化は、日本においても生活困窮者自立支援制度や新しい住宅セーフティネット制度などに見られますが、困窮する人々の広がりや課題は多岐に渡っており、その実効性を問うものとなっています。

本セミナーでは、日本と韓国における居住貧困、そしてホームレス女性、DV、移住者や母子世帯等の実態と支援について取り上げ、居住貧困を貫く根本問題や、日本・韓国の固有の問題等を明らかにしたいと思います。双方向的な学びの場で、議論を深められることを期待しています。

多くの皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。

- 9:30 受付開始
- 10:00 **開会挨拶** ●塩崎賢明（日本住宅会議理事長）
主旨説明 ●中島明子（日本住宅会議理事／日韓共同サマーセミナー実行委員長）
- 10:15 **基調講演** ●竹信三恵子（和光大学教授）
「日本の女性の貧困はなぜ注目されたのか～居住問題の側面から」
- 11:15 **基調報告1** ●稲葉剛（つくろい東京ファンド代表理事）
「拡大する住まいの貧困とハウジングファースト」
- 11:45 **基調報告2** ●金承喜（キムスンヒ）（江原大学不動産学科准教授）
「韓国における居住貧困」
- 12:45 〈昼食休憩〉
- 13:30 **韓国報告**
報告① ●張希貞（ジャンヒジョン）（仁川（インチョン）母子世帯支援センター、センター長）
「韓国における母子世帯の居住安定と養育」
報告② ●鄭恵実（ジョンヘルシル）（移住民放送 MVMTV 代表）
「ビニルハウスは家ではない—農業移住労働者の居住問題」
報告③ ●任惠淳（リムヘイスン）（コミュニティコンサルティング・クリム代表）
「都市再生とシェアハウス」
- 15:30 〈休憩〉
- 15:45 **日本報告**
報告① ●阪東美智子（国立保健医療科学院生活環境研究部上席主任研究官）
「新たな住宅セーフティネット制度」
報告② ●丸山里美（立命館大学産業社会学部准教授）
「日本のホームレス女性の現状」
報告③ ●横田千代子（いずみ寮施設長）
「婦人保護施設；住環境の変遷—管理から“暮らしづくり”へ」
- 16:45 質問・意見交換
- 18:00 閉会
- 18:30～ 懇親会（自由参加）

参加費 会員 2,000 円、非会員 2,500 円、学生 1,000 円
※参加費に含まれるもの：講演・報告の参加費用、資料代
※資料のみ別売 1,000 円

参加申込 氏名（会員・非会員・学生の別）、所属、連絡先（住所・電話・メール等）を明記の上、下記宛にメールまたは郵便・FAX にて申し込んで下さい。
メール：gq7y-sozk@asahi-net.or.jp FAX：075-541-2831
〒605-0953 京都市東山区今熊野南日吉町 20-9 日本住宅会議

締め切り 8月6日(月) 定員 100 名